

## 澄川図書館の移転予定に関する住民説明会議事概要

- 日 時：①令和6年（2024年）2月14日（水） 18時30分～20時00分  
②令和6年（2024年）2月16日（金） 18時30分～20時00分  
③令和6年（2024年）2月17日（土） 14時00分～15時30分
- 場 所：①澄川南福社会館  
②澄川地区会館  
③すみかわ地区センター
- 参加者：地域住民等（①3名、②14名、③35名） ～52名  
澄川地区連合会会長・副会長、各町内会長、澄川まちづくりセンター長 ～15名  
札幌市南区市民部総務企画課、地域振興課 ～4名
- 説明者：札幌市教育委員会中央図書館調整担当課 ～2名  
札幌市財政局財政部公共施設マネジメント担当課 ～1名  
札幌市市民文化局地域振興部区役所整備担当課 ～3名

### 1 開会あいさつ

～札幌市教育委員会中央図書館調整担当課長

- 札幌市で今後予定している真駒内駅前地区のまちづくりにおいて、南区役所や区民センターなどの市有施設を複合庁舎として建替え、真駒内駅周辺に再配置する検討を進めている。
- この複合化の対象施設に澄川図書館も含まれていることから、澄川地区の皆様にも複合化の理由、複合施設の目指す姿、澄川地区にどのような図書機能を残すのか等を説明する予定。
- この機会にぜひご意見をいただきたい。

### 2 新複合庁舎の基本的な考え方について

～札幌市財政局財政部公共施設マネジメント担当課長

札幌市教育委員会中央図書館調整担当課長

- 真駒内駅前地区まちづくり計画では、交通結節点であり区の拠点となる地域交流拠点として位置付けている真駒内駅周辺に、多様な都市機能の集積や快適な歩行空間の創出等を図ることとしている。
- 地下鉄真駒内駅の目の前のA1、A2街区は民間商業施設や交通広場を配置し、にぎわいの空間を創出。隣のB1街区には区役所、区民センターなどの行政・公共サービス機能をまとめる計画。
- 札幌市では今後の人口減少・少子高齢化社会の到来、それに伴う税収減により、現在と同じ規模で市有施設を建て直して維持していくことができない時代となっている。
- そのため、建替えのタイミングで施設を複合化し、機能は維持しながら施設の総量・規模を抑え、経費を節約することにより、次の世代に必要な施設を受け継ぎつつ過度な負担は残さな

い、という「札幌市市有建築物の配置基本方針」に沿って複合化に取り組んできている。

- 地域交流拠点に地域の核となる交流機能や中核的な図書館機能を集約し、より多くの方が利用しやすい配置とする、ということもこの方針に掲げられている。
- 新しい南区複合庁舎には区役所、区民センター、保健センター、まこまる（旧真駒内緑小学校）、澄川図書館の5つの建物を複合化する計画。今後2年間をかけて基本計画を策定し、設計、建設工事を経て、令和14年（2032年）頃の完成を目指している。
- 札幌市ではこれからの地区図書館を「地域における学びと情報の拠点」と位置付け、「図書との出会いの場所」「市民の学びや創造的な活動を支える場所」「人や情報が集まる出会いや交流の場所」として行く方針。
- 各施設と複合化することにより役割を果たし、各施設にも相乗効果をもたらされるよう、様々な取組を進める。
- 一方、澄川図書館が無くなった後についても澄川地区に図書機能は必要と考えており、貸出・返却カウンターを設置や図書館に行かなくても利用できる既存の図書館サービスを活用いただくことで図書機能を維持することを考えている。
- 澄川図書館の跡地については用途地域（第一種低層住居専用地域）の制限から行政利用は見込まれないため、複合庁舎の供用開始にあわせて建物を解体し、土地は売却を基本に調整する予定。
- 今回の説明会に先立ち、澄川地区連合会町内会長会議において同様の説明をさせていただいた。その際に、「図書館は高齢者の憩いの場所となっている」「読み聞かせなど子どもが集う場所となっている」「電子図書やインターネット予約ではなく、実際に本に触れて選びたい」といったご意見をいただき、図書館が無くなるのであればそういった場を検討してほしい、との要望をいただいている。
- これらのご意見については、今回実施している説明会での皆様からのご意見も踏まえて検討を行い、今後お答えする予定。

### 3 質疑応答

#### (1) 質疑

【2月14日開催分】

NO	主な質問・意見の概要	回答
1	移転、という表現は不適切。澄川図書館の閉館、真駒内駅前図書館の新設が正しい。澄川図書館が南区の図書館、という認識を住民は持っていない。	澄川図書館は、区に1つの地区図書館と位置付けており、その場所が変わるという意味で移転と表現している。
2	「真駒内駅前地区まちづくり計画」では澄	今後2年間かけて新しい複合庁舎にどう

	川図書館を真駒内駅前に持っていく、という計画はなかった。この計画はいつ、どこで作ったのか。	いった機能を持たせるかを決定していく予定。
3	真駒内に図書館を作るのであれば何冊の蔵書になるのか。南区全体を対象とするのであれば、今の澄川図書館の蔵書では足りない。	地区図書館の蔵書は概ね8万冊を基準としており、新たに図書館を造る場合も同様となる予定。
4	以前は毎週のように図書館に通って本を借りたが、興味のある本がすべてなくなってしまった。図書予算はどうなっているのか。	直近5年間の図書館の予算はほぼ横ばいで増えていない。一方で施設の維持管理にかかる経費が増えており、資料費が減少している。
5	自宅の本を寄贈しようとして相談したが、嫌な顔をされ、寄贈をあきらめた。	ご不快な思いをさせてしまったことは申し訳ございません。寄贈本は図書館で活用したり、図書館で活用できないものは施設に寄贈したり、といった取り組みを行っているため、ご相談いただきたい。

【2月16日開催分】

NO	主な質問・意見の概要	回答
6	文化施設が無くなるというのは計り知れない損失。澄川のために残すものを考慮して欲しい。	1区に1つの図書館を南区のどこに配置すべきか、また、今後施設を維持していくにはどうすべきか検討した。地域の皆様のご意見・ご要望は検討してまいりたい。
7	スケジュールにあるワークショップのイメージは。	地域の方々にご参加いただく予定であるが、明確にどのような形で実施するかは決まっていない。
8	1区に1つの図書館という話であったが2つにはできないのか。また、図書室として残すことはできないのか。	札幌市の考えは、図書館は各区1館、それを補完するものとして区民センター、地区センターの図書室がある。 真駒内の新庁舎と澄川図書館の建物両方を維持するのは財政上厳しい。
9	図書館を減らすのであれば話題の図書はすぐに入荷して蔵書を増やして予約待ちを短くする、などメリットを用意できないか。	利用者アンケートなどでも同様の意見を数多くいただいております。ご要望として承る。図書館の役割として流行の本のみを買うことはできないことはご理解いただきたい。

10	澄川図書館や南区民センターにしかない貴重な資料の扱いはどうなるのか。	札幌市に1冊のような資料についてはしっかりと選定して残してまいりたい。
11	貸出カウンターをつくる場合、地区センターなどの今ある機能を削ってつくるつもりか。 図書館が無くなった場合は取り寄せの利用頻度は高くなるため、設置場所についてはしっかりと考えたほうがよい。	現在の機能を削るつもりはない。 状況をしっかり確認の上、設置場所を検討してまいりたい。
12	読み聞かせボランティアの活動場所を地区センターなどに残すことを検討してほしい。	地区図書館を地域の学びの拠点として機能向上を図る中で検討してまいりたい。
13	なぜ澄川よりも人口が少なく、人口が減少している真駒内に施設を統合することにしたのか。	南区全体の拠点として交通結節点である真駒内に公共施設を集積・複合化する、というのが昨年策定した真駒内駅前地区まちづくり計画。 平成26年に定めた「札幌市市有建築物の配置基本方針」の中で、中核的な図書機能を集約することとしており、この方針に沿って複合化を検討している。
14	インターネット予約や予約本の連絡を澄川図書館の職員にお願いしているが、貸出カウンターをつくった場合、そういったことは引き続き可能か。	職員や予約端末の配置など、貸出・返却に関するサービスは現在のままできることを想定している。
15	巨大な施設をつくることはリスクが高く、考え直してほしい。また、複合化することがどの程度メリットになるのか説明していただきたい。	個々の施設の共用部分を組み合わせることでコンパクトな建物をつくることを考えている。 複合化は国の施策でもあり、これを進めることで国の支援を受けることもでき、札幌市の負担を減らすこともできる。設計前の概算となるが、澄川図書館に関する部分のみでも、単独で建替えた場合と比べ7～8億円削減できる見込み。
16	白石区には現在、東札幌図書館とえほん図書館があり、整合性が取れていない	図書・情報館とえほん図書館は中央図書館の機能を補完する全市を対象とした図書館、という位置付け。白石区の地区図書館は東札幌図書館のみと考えている。

17	複合化が必要となるのは小規模都市ではないのか。PFIなど民間手法の活用も検討しているのか。	厳しい財政状況は政令指定都市にも及んでおり、同じく複合化の検討が必要な状況。民間活用の手法も取り入れて行く。
----	---	--

【2月17日開催分】

NO	主な質問・意見の概要	回答
18	澄川図書館は市内で中央図書館の次に環境がよく、図書館が無くなると本を選ぶ楽しみが無くなる。もいわや藤野地区センター、西岡図書館に地下鉄やバス代をかけて行く必要がある。なぜ真駒内に持って行くのか。	今後の札幌市の財政状況を見通すと、すべてを現在と同じ規模で残すことができない。澄川の方にはご不便をおかけするが、南区全体を見渡した時により多くの方にとって利用しやすい場所ということで検討した。
19	図書館のような施設があることは地域が豊かであること。大きなものにまとめたり、利便性ばかりを言わないでほしい。	区の図書館として南区の中のどこに配置するのがより多くの方にとって利用しやすいかという考え方で検討している。これまで澄川地区で図書館が果たしてきた役割をどのように補うかは、ご意見を踏まえて検討したい。
20	澄川図書館を壊さずに活用した場合、どの程度の負担になるのか。本館を真駒内としたときに澄川図書館をサブとして活用できないのか。	設計前の概算となるが、澄川図書館に関する部分のみでも単独で建替えた場合と比べ札幌市の負担を7～8億円削減できる見込み。また、複合化などの対策を取らずに今ある施設をそのまま建て直した場合、建設事業費に関する市の借金が数十年後に現在の倍となることが見えており対策が必要なため、澄川図書館も維持することは財政上厳しい。
21	結論ありきで説明に来ているのではないのか。	今後2年間の基本計画策定の中で複合化する施設を決めていく。本日の説明は、市が考えている複合化予定施設の話。
22	澄川図書館は10年後に使えなくなるのか。	複合庁舎ができる令和14年（2032年）には築50年となり、建替えを検討するタイミングに差し掛かるため、今回の複合化の対象としている。

23	まずは澄川図書館の長寿命化を検討すべきであるし、現在の国の支援メニューが使えないのであれば要望すればよい。 図書館法で図書館の数は制限していないのでそのまま使ってほしい。	財政運営が成り立つ範囲で行政サービスを維持できるよう、複合化を国も推進しており、そのための支援もある。 札幌市の図書館条例で定めているわけではないが、1区に1図書館の整備を札幌市の長期計画の方針に沿って進めてきたところ。
24	澄川図書館で行っている企画展示はホームページに掲載しているのか。	ホームページには各図書館の企画展示の情報を掲載している。
25	真駒内地区を再開発することが本当に正しい考えか。区役所は澄川に建て替えたほうがよいのでは。	南区全体の皆様にとって中心的機能をどこに置くのがよいか検討し、真駒内駅前地区まちづくり計画となっている。
26	今後どのように意見集約していくのか、進め方を聞きたい。	複合庁舎の基本計画策定は区民ワークショップ等で検討するが詳細は未定。 今回の皆様からのご要望については、町内会回覧などで周知する予定。 澄川地区連合会から要望をいただく動きもあるが、スケジュールはまだ検討中。
27	今回の計画を決めたのは誰か。	平成26年に定めた「札幌市市有建築物の配置基本方針」の中で、中核的な図書機能を集約と掲げている。市議会における議論、市民アンケート、パブリックコメントなどを経て定めた市全体としての方針であり、これに沿って複合化を検討している。

(2) 意見・要望

【2月14日分】

- 図書館が区に1つ、というのは札幌市がそう考えているだけ。まちづくりセンター毎に図書館があってもよい
- 様々な施設を集約するのではなく、いろいろな場所に造ることが必要。また、計画を立てる際には住民の意見を聞くことが大切
- 公共施設に誰でも自由に本を持ち寄り、借りることができる本棚を造るとよい
- 図書購入を目的とした寄付を市民にお願いするなどの努力をすべき
- 図書館の跡地は防災など地域で使えるような工夫をすべき
- 図書館にマンガなど子どもの興味がある本を置くことでほかの本も読むきっかけとなる

- 真駒内駅前地区まちづくり計画に関して
  - ・ 複合施設には図書館よりもTSUTAYAを入れたほうがよい
  - ・ 広場には屋根があるとよく、そこを公園にするとよい
  - ・ 200席程度の劇場があるとよい
- 南区にある歴史的、文化的なものをしっかり残して行って欲しい

#### 【2月16日分】

- 澄川図書館が統合されるのであれば澄川図書館にある本はすべて捨てないで、借りられるようにしてほしい
- 紙芝居はインターネット予約で借りられないが、借りられるようにしてほしい
- 白石区複合庁舎を建てる際にはどのように住民の理解を得たのか教えてほしい
- 南区民センター図書室を澄川に持ってくることはできないか
- 複合化した場合や澄川図書館を残した場合など想定の際費の資料を付けてほしい
- 移動手段のない高齢者などの利便性を考えてほしい

#### 【2月17日】

- 図書館を社会教育施設として重視しているという評価であるならば増やすというのが筋であろうし、まちづくりの中で図書館がどういう役割を果たし、将来世代にどういう夢を持たせるか、ということを広く議論する必要がある
- 市民目線に立って対話をしながら進めるべき。町内会でも形式的に説明するだけでなくきちんと議論してほしい
- 学校図書館を充実させることも手法の一つ
- 図書館や美術館など文化的なものは損をしても維持すべき
- 澄川図書館を残すための可能性を検討してほしい

#### 4 今後の流れなど

- 今回の資料、質疑の内容等は3月18日～4月12日までの期間、澄川まちづくりセンター、澄川図書館で閲覧可能。また図書館のホームページ（「札幌市の図書館」）にも掲載する。  
<https://www.city.sapporo.jp/toshokan/index.html>
- また、他にご意見がある場合は令和6年（2024年）4月12日まで中央図書館にお寄せいただきたい。

【郵送・持参】 〒064-8516 札幌市中央区南22条西13丁目1-1 中央図書館3階

【TEL】 011-512-7330 【FAX】 011-512-7110 【メール】 chuotosyokan@city.sapporo.jp